

豊田工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	電気英語基礎 I	
科目基礎情報						
科目番号	72341		科目区分	専門 / 選択		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	電気・電子システム工学科		対象学年	2		
開設期	通年		週時間数	1		
教科書/教材	「めざせ100万語! 読書記録手帳」SSS英語学習法研究会 ISBN978-4902091267、Macmillan Readers Beginner(MMR2)他、英文多読用図書 (図書館蔵書) / (リスニング教材)「速読速聴・英単語 Basic2400」(増進会出版社) ISBN978-4862900074、「フリーアの冒険第5章微分、英語版」ISBN978-4906519118					
担当教員	西澤 一					
到達目標						
(ア)担当教員の指導下で、日本語を介さずに理解できる英文の水準を見つけることができる。 (イ)基本語300~400語水準 (YL1.2) の英文を、連続して30分以上読み続けることができる。 (ウ)基本語300~400語水準 (YL1.2) の英文を、毎分100語以上で読み、概要を把握することができる。 (エ)継続的な学習により、課外学習も含めて、延べ10万語以上の英文を読んでいる。 (オ)毎分100語程度で、断続的に読み上げられる基礎語彙からなる英文を聴き取り、4割程度を書き取ることができる。 (カ)TOEIC330点程度の英語コミュニケーション能力を有する。						
ループリック						
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安			
評価項目(ア)	自ら、日本語を介さずに理解できる英文の水準を見つけることができる。	担当教員の指導下で、日本語を介さずに理解できる英文の水準を見つけることができる。	担当教員の指導下で、日本語を介さずに理解できる英文の水準を見つけない。			
評価項目(ウ)	基本語300~400語水準 (YL1.2) の英文を、毎分100語以上で読み、内容を詳しく把握することができる。	基本語300~400語水準 (YL1.2) の英文を、毎分100語以上で読み、内容を把握することができる。	基本語300~400語水準 (YL1.2) の英文を、毎分100語以上で読み、概要を把握することができない。			
評価項目(エ)	継続的な学習により、課外学習も含めて、延べ22万語以上の英文を読んでいる。	継続的な学習により、課外学習も含めて、延べ15万語以上の英文を読んでいる。	課外学習も含め英文読書量が、延べ10万語に達しない。			
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	技術者に必要とされる基本的な英語コミュニケーション能力の習得には、継続的、体系的かつ自律的な学習が必要である。本講では、受講生が「英語購読I」で入門した英文多読を通年継続し、授業内外における読書を通じて、受講生自ら英語コミュニケーション能力の向上を実感することを目指す。多読ではやさしい英文を大量に読むことにより、日本語を介さない直接的な英文理解をめざす。英文和訳を避け(従って辞書は使用しない)、分からないところはとばし、英文読書を楽しむ。また、リスニング演習(ディクテーション)を併用し、多読との相乗効果によるリスニング能力の向上も目指す。					
授業の進め方・方法						
注意点	小テスト評価は、ディクテーション(10%)、リーディング(30%)により行う。課題評価は、読書記録(10%、H29年3月~30年2月の累積)により行う。					
選択必修の種別・旧カリ科目名						
授業計画						
	週	授業内容	週ごとの到達目標			
前期	1週	英語コミュニケーション・スキルを身につけるための学習法の解説	日本語を介さずに英文を理解する、多読の読み方を認識する			
	2週	英語コミュニケーション・スキルを身につけるための学習法の解説	日本語を介さずに英文を理解する、多読の読み方を認識する			
	3週	リーディング教材を用いた読解演習:	YL1.2以下のやさしい英文を読み、自らの読書状態を観察できる			
	4週	リーディング教材を用いた読解演習:	YL1.2以下のやさしい英文を読み、自らの読書状態を観察できる			
	5週	リーディング教材を用いた読解演習:	YL1.2以下のやさしい英文を読み、自らの読書状態を観察できる			
	6週	学習者毎に、実力に合ったリーディング教材を見つけるためのカウンセリング	担当教員の指導下で、日本語を介さずに理解できる英文の水準を見つけることができる			
	7週	リーディング教材を用いた読解演習:	YL1.2以下のやさしい英文を読み、自らの読書状態を観察できる			
	8週	リーディング教材を用いた読解演習:	YL1.2以下のやさしい英文を読み、自らの読書状態を観察できる			
	2ndQ	9週	リーディング教材を用いた読解演習:	YL1.2以下のやさしい英文を読み、自らの読書状態を観察できる		
		10週	リスニング演習(ディクテーション):	毎分100語程度で、断続的に読み上げられる基礎語彙からなる英文を聴き取り、4割程度を書き取ることができる		
		11週	学習者毎に、実力に合ったリーディング教材を見つけるためのカウンセリング	担当教員の指導下で、日本語を介さずに理解できる英文の水準を見つけることができる		
		12週	リーディング教材を用いた読解演習:	YL1.2以下のやさしい英文を読み、自らの読書状態を観察できる		
		13週	リーディング教材を用いた読解演習:	YL1.2以下のやさしい英文を読み、自らの読書状態を観察できる		
		14週	リーディング教材を用いた読解演習:	YL1.2程度のやさしい英文を読み、その概要を日本語で説明できる		
		15週	リーディング教材を用いた読解演習:	YL1.2程度のやさしい英文を読み、その概要を日本語で説明できる		

		16週		
後期	3rdQ	1週	学習者毎に、実力に合ったリーディング教材を見つけるためのカウンセリング	担当教員の指導下で、日本語を介さずに理解できる英文の水準を見つけることができる
		2週	リーディング教材を用いた読解演習：	YL1.2以下のやさしい英文を読み、自らの読書状態を観察できる
		3週	リーディング教材を用いた読解演習：	YL1.2以下のやさしい英文を読み、自らの読書状態を観察できる
		4週	リーディング教材を用いた読解演習：	YL1.2以下のやさしい英文を読み、自らの読書状態を観察できる
		5週	リスニング演習（ディクテーション）：	毎分100語程度で、断続的に読み上げられる基礎語彙からなる英文を聴き取り、4割程度を書き取ることができる
		6週	学習者毎に、実力に合ったリーディング教材を見つけるためのカウンセリング	担当教員の指導下で、日本語を介さずに理解できる英文の水準を見つけることができる
		7週	リーディング教材を用いた読解演習：	YL1.2以下のやさしい英文を読み、自らの読書状態を観察できる
		8週	リーディング教材を用いた読解演習：	YL1.2以下のやさしい英文を読み、自らの読書状態を観察できる
	4thQ	9週	リーディング教材を用いた読解演習：	YL1.2以下のやさしい英文を読み、自らの読書状態を観察できる
		10週	学習者毎に、実力に合ったリーディング教材を見つけるためのカウンセリング	担当教員の指導下で、日本語を介さずに理解できる英文の水準を見つけることができる
		11週	リーディング教材を用いた読解演習：	YL1.2以下のやさしい英文を読み、自らの読書状態を観察できる
		12週	リーディング教材を用いた読解演習：	YL1.2以下のやさしい英文を読み、自らの読書状態を観察できる
		13週	リスニング演習（ディクテーション）：	毎分100語程度で、断続的に読み上げられる基礎語彙からなる英文を聴き取り、4割程度を書き取ることができる
		14週	リーディング教材を用いた読解演習：	YL1.2程度のやさしい英文を読み、その内容について日本語で説明できる
		15週	リーディング教材を用いた読解演習：	YL1.2程度のやさしい英文を読み、その内容について日本語で説明できる
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		定期試験	課題	小テスト	合計
総合評価割合		50	10	40	100
基礎的能力		50	10	40	100